

平成22年度全国高等学校総合体育大会【美ら島沖縄総体2010】
(第78回 日本高等学校選手権水泳競技大会)

水球競技速報用紙

平成22年8月17日(第1日)

会場: プール

ゲームNo

2

帽子の色 白
関西高等学校

8

天候: 晴れ

1回戦		
1	-	2
2	-	2
2	-	1
2	-	2
EX.		
0	-	0
1	-	0
P.T.		
-	-	-

青 帽子の色
金沢市立工業高等学校

7

審判1: 大島 明

審判2: 井上 嘉隆

戦 評

昨年のまほろば総体8位以上の成績を目指す強豪関西と北信越の伝統校金沢市立工業との対戦。どちらも若いチームだけに早く自分のペースをつかみたいところ。

1P 関西高校から攻撃が始まった。試合開始早々、白 塚本、津崎が立て続けにセンター攻撃から退水を誘発し、攻撃を仕掛けるが関西のシュートが決まらない。金沢もパワープレーを決められないで共にターンオーバーを繰り返す。試合が動いたのは2:56、青 石谷が右サイドからカットイン、シュートを決め金沢が先行した。関西はセンターを中心に攻撃を仕掛けるが、金沢はスペースを与えずダブルチームで攻撃を防いでいく。2:38、金沢のカウンター攻撃にたまたま白 が退水、このパワープレーを青 石谷が決め0-2とリードを広げる。センター攻撃を繰り返す関西は、1:07白 塚本がフローターシュートを決め1-2と追い上げる。

2P DFの厳しさもあるが、両チームとも無駄なファールやパスミスが目立ち、ターンオーバーを繰り返す。関西はなかなかパワープレーを決められない。4:55、青 吉田がスピードに乗ったカウンター攻撃からGKの脇下を打ち抜き1-3とリードを広げる。関西も果敢に攻撃を仕掛けるが、金沢のDFに阻まれ得点できない。さらに2:52には青 石谷が退水を誘発し、リターンパスを受け3点目、1-4と差を広げる。これに対し関西は、塚本、津崎のフローティングで応戦する。塚本にダブルチームに行ったところを白 津崎が塚本からパスを受け得点。2-4、1:30には、パワープレーから白 塚本が押し込み、3-4と追い上げて終了した。

3P カウンター攻撃をねらう金沢、フローター攻撃の関西ともに激しく攻撃を仕掛けるが、両チームとも右サイドのDFが厳しく、なかなか形が作れない。両チームとも退水誘発時にタイムアウトを取り、攻撃を徹底するが、得点には結びつかない。得点は2:20、白 津崎がミドルからループシュートをゴール右上に決め関西が4-4の同点とした。1:57、青 川本がカットインから得点。0:47には、白 亀井がパワープレーから得点。3Pまで5-5の同点で試合が進んだ。

4P 関西から「いけるぞ」の声が上がる。開始早々青 北川退水に白 津崎がパワープレーを決め、初めて関西がリードする。金沢ベンチからは「ドライブ!」の声。両チームの激しい攻撃も決定打がでない。3:06関西のカウンター攻撃から白 から 津崎へパスが渡り得点。7-5とリードを広げる。粘る金沢は2:10、青 川本がカウンターからミドルシュート、1:28には、玉谷がカットインから得点し7-7の同点に追いつき、延長戦に入る。

EX1 関西のフローター攻撃、金沢のカウンター攻撃が繰り返されるが両チームともチャンスを生かせないまま時間が過ぎる。

EX2 両チームとも勝利を目指し攻撃を仕掛けるがターンオーバーの繰り返しで得点につながらない。0:43、青 退水に2回目のタイムアウトをとり、攻撃するがDFに阻まれる。決勝点はシュートからのルーズボールを白 塚本がGKに競り勝ち、白 吉本にパス。これが決まり関西が勝利した。

記 録 者

渡辺 俊明